

## 和歌浦地区を対象として景観まちづくりワークショップの 第2回を開催しました！！

雑賀崎・田野・和歌浦地区の景観まちづくりをどのように進めていくか、について話し合う景観まちづくりワークショップの第2回を、2月26日(日)に和歌の浦アートキューブで開催しました。

今回は、和歌浦地区を対象として、地域の資源・問題点を話し合うとともに、現地を調査して、気づいた点や今後考えていくべき点を出し合いました。



### ワークショップのプログラム等の説明

はじめに、都市整備課の前田課長からあいさつを行った後、全体のプログラムを説明の上、ワークショップの全体コーディネーターの下村 泰彦先生から今回のポイントをお話いただきました。

- 景観をどうしていくかは、1～2回の話し合いですぐ結果が出るものではありません。今回は現地の調査をまじえながら、課題などを見つけていただければと思います。
- この地域にどんな魅力、いわれがあるのか。皆さんしか知らない、パンフレットなどに載っていないこともたくさんあると思います。普段見慣れた景観でも、外から観ると魅力的に映るものです。堺市でも、農家の方にとっては当たり前農村風景が、他の住民からは価値ある風景として評価されるといった体験がありました。
- いかに景観を引き継いでいくのか、景観に限らず問題点が出てくるかもしれません。
- 普段気づかない魅力も掘り起こしながら、どんな景観が相應しいのか、市も一緒に、力を借りながら考えていただければと思います。



### ワークショップ

その後、参加者が4つの班に分かれて、和歌浦地区の景観の資源、問題点を話し合い、その上で現地調査を行い、実際に歩きながら点検をしました。

A 班：大道さん、池田さん、山野さん、松川さん、堀畑さん、青山さん、中井さん、西山さん

【和歌浦の景観の資源】

○変化に富む眺望

- ・高津子山、てんぐ山、妹背山からの眺望は、海の近さが違いおもしろい
- ・てんぐ山・妹背山からの眺望は、海・山・川・干潟など、多種多様な地形。バランスがいい

○「横の線」が重なって見える（水平線、片男波の線、山の尾根筋）

○万葉の時代を想像させる風景

○「眺望のいい人気レストラン」

- ・眺望がいい場所に、おいしいレストランがある。観光客が訪れる大切なポイント



【和歌浦の景観の課題】

○てんぐ山からの眺望と建物

- ・4階建ての建物が水平線を遮ってしまっている。むやみな高さの制限は、住民の「暮らし」を不便にするので注意が必要
- ・奇抜な色の壁面が、目につけてしまう

○てんぐ山への案内板

- ・てんぐ山にたどり着くための、サインに工夫が必要

○観光ルート（交通）安全の確保

- ・横断歩道もなく、カーブしていて視界も悪い。重要な観光ルートなので横断したいが、危ない
- ・地区の住民が努力して、美しく保ってきた風景で、ごみが落ちておらず、清潔。ただし、タバコのポイ捨て対策が必要
- ・駐車場をもっと活用すべき、「夕日を見るためにちょっと立ち寄る」ことができるように、限定的に無料化しては

B 班：松井さん、土山さん、松本さん、保井さん、小倉さん、藤本さん、前田さん

【和歌浦の景観の資源】

○和歌浦6島（山）：妹背山、鏡山、奠供山、雲蓋山、妙見山、船頭山

- ・景勝地というだけでなく、多くの歴史が詰まっている場所  
→新和歌浦地区の往時を支えた森田庄兵衛、完成していれば東洋一と言われた水族館建設の跡など
- ・経済成長とともににぎわいは和歌浦から新和歌浦へ



→今は両地区とも活力が減退気味

#### 【和歌浦の景観の課題】

- 名勝にも指定され、守られるべきところの取り組みは 進みつつある。
- しかし、和歌浦南の住宅地内など地域内に目を向けると、埋め立てによる普通の住宅地が形成されており、景観という観点で乏しいのでは？
- また、御手洗池公園には生活排水が流れ込んでいたり、東照宮のおひざ元であるのに十分な管理がされた状態と言えない。
- 景観もさることながら、地域の歴史性を再確認し、この地域をどうしていくのかを考えることが大切。

C班：林さん、池田さん、宮下さん、小泉さん、中野さん

#### 【和歌浦の景観の資源】

- 何もせずとも、夏は海水浴で賑わう
- 冬でも散歩に来る人がいるような魅力的な場所
- 高津子山の眺望が良い／山の稜線がはっきり見える
- 青石の舗装や和歌を書いた陶板は好印象

#### 【和歌浦の景観の課題】

##### ○公共空間のデザイン

- 公共の看板やサインは地域に適切なデザインを考える

- 店舗の屋外看板が山の眺望を遮っている

- 集合住宅の色あいも重要

##### ○住民、企業のマナー

- 放置されているものが景観や眺望を阻害している→空き家、廃船、廃業旅館

##### ○設備の維持管理

- 遊具やベンチなどの維持管理が不十分

- つくるだけでなく、維持管理補修のしくみが必要→受益者に活動に参加してもらうにはどうするか？

##### ○近景と遠景の両方を大事にする

- 自然はできるだけ残したい

- 海辺の景観、海辺周辺の景観が大事

- 小高くなっている歴史的な寺と市街地の関係

- 他所と比べて海が青いのが魅力→川や海のヘドロをどうするか…



D班：唐門さん、中筋さん、中口さん、茶畑さん、西本さん、西口さん、尼岡さん

【和歌浦の景観の資源】

- どこから見ても見飽きない、景色が良い
- 時間や季節によって変化する
- いろいろな人の活動できれいになりつつある

【和歌浦の景観の課題】

- 眺望について
  - ・屋根の色などのコントロールは必要か
  - ・見る～見られるの関係で成立しているので、どこからどう見るかを考えるべき
- 暮らしとの共生
  - ・地元の人とちょっと来る人（観光客）との共生をどう図るか
  - ・地域の人も良さを再認識する必要
  - ・地域の住民は防災が関心事、それと景観をどう両立させるか
- 活動をサポートするしくみ
  - ・NPO や企業、市民などいろいろな活動がある、継続していくにはサポートが必要
- ネームバリュー、ブランド
  - ・天橋立のようなイメージ発信
  - ・若い人が減っているが、イメージアップを図って住んでもらうようなことも



発表

各グループのメンバーが、話し合った内容を発表しました。

最後に、下村先生からコメントがありました。

- ・この地区の環境、景観、それらが変化していくことが魅力だというのは本当にその通りだと思います。
- ・各グループに共通していたのが、「どこから見た景観が良いか」といった眺望に関するものでした。山の上からの眺望などが代表的なもので、そうした眺望点からどう見えるか？どう守っていくのか？が重要ということでした。看板や建物の屋根・外壁の色が背景の海や緑に比べて目立つといった意見も各グループで挙げられていたと思います。
- ・あと、標識、サインなどが統一されていない、といったことも挙がっていました。
- ・次は田野、雑賀崎地区ということで、今回とは違った展開になると思っています。どうしていったら良いのか、また忌憚のない意見交換を行っていければと思います。



次回は、3月11日（日）を予定しており、今回と同じ要領で田野・雑賀崎地区の資源・問題点を話し合う予定としています。次回もよろしくお願いいたします。

●事務局・問い合わせ先

和歌山市 まちづくり局 都市整備部 都市整備課

〒640-8511 和歌山市七番丁 23 番地

Tel : 073-435-1082 Fax : 073-435-1367 E-mail : [toshiseibi@city.wakayama.lg.jp](mailto:toshiseibi@city.wakayama.lg.jp)